

文教厚生委員会会議録

平成28年2月18日（木）

午後2時45分 開会

○沢田清委員長

ただいまより、文教厚生委員会を開会いたします。

協議題1 閉会中の調査事項についてを議題とします。先般の大垣市への視察、皆様お疲れ様でした。行政視察を終えて皆様の感想やご意見を事前にいただいておりますので、順にこのご意見について説明とご提言などお願いしたいと思いますのでよろしくお願いします。

○加藤美幸副委員長

【報告書に基づき説明】

○山内悟委員

【報告書に基づき説明】

○小栗佳仁委員

【報告書に基づき説明】

○鈴木好美委員

【報告書に基づき説明】

○澤田勝委員

【報告書に基づき説明】

○榊原伸行委員

【報告書に基づき説明】

○藤田千晴福祉部長

【報告書に基づき説明】

○小野田靖高齢介護課長

【報告書に基づき説明】

○沢田清委員長

【報告書に基づき説明】

皆さん、ありがとうございました。以上の他に、皆様の報告を聞く中でご意見等ありますか。

【「なし」との声あり】

では、皆様のご意見を参考にさせていただいて、委員会報告を作成していきたいと考えていますが、現段階において、盛り込むべき内容がありましたらお伺いしたいと思います。

○澤田勝委員

盛り込んでほしい内容ではないのですが、当初このテーマを定めたときに、半田市の特徴としてNPO団体が数多くあって、活発に活動されているという中で、ある程度その部分を当てにしていたと思うのですが、視察に行ってみると感じたことは、それを当てにしていない、もしくはできないような印象を受けました。その辺りについて、当局はどのように感じているのでしょうか。

○藤田千晴福祉部長

既存のNPO法人やふれあい会などについては、この仕組みの中で、どのような枠組みで活躍頂けるか考える必要があります。

一緒にやろう、と言って、こちらから引っ張り込むというよりも、地域の困っている人たちをどのように支えていくかということ、一緒になって考え、それぞれが何ができるのかということを考える必要があります。そのためには、時間がかかるということを改めて感じています。

○小野田靖高齢介護課長

健康づくりの体操のリーダーさんにつきましては、今、職員も一緒になって介護予防の体操などを勉強しています。こういった方が、それぞれの地域の教室で活躍されることを期待している訳ですが、それには、その方だけではなくて、それを支える地域の環境や協力が必要になります。ですので、全ての地域が一気に同じものをスタートできるかどうかについては、温度差が生じる可能性もあると思いますが、一つ一つのメニューを増やしていくことについて、行政としてサポートしていきたいと考えています。

○沢田清委員長

他にありませんか。

○加藤美幸副委員長

各種の団体さんは自分達のことでは精一杯になっているでしょうし、高齢化しているため、若い人への引き継ぎなどを行政でサポートする必要があると思いますが、いかがでしょうか。

○藤田千晴福祉部長

同感であります。ただ若い人に必要だからやって欲しいと言っても、言われたからやるという状態では続かないという思いがあります。先日、日本福祉大学の原田先生が、総合事業を絡めて地域福祉をどのようにするのかという話されていましたが、サロンが活発な所は朝と夜に鍵の開け閉めをするのみで、何もやっていません。その代わり、365日開いて、そこに人が集まるといった、気軽に行ける場所となっています。また、自分にどのような役割があるのかというところが大事で、それを継続して、介護の予防であったり、要支援や軽度の要介護の方の行き場所になると居心地の良い場所になるのではと思います。

○榊原伸行委員

半田市は前倒して実施されようとしていますが、実際にあと1年しかない中で、お話を伺っていると、地域間格差は当然生じると思いますが、どの程度まで積み上げてスタートするのか、見切り発車してしまうのか、心配に感じています。その状況によっては、提言の内容も変わってくると思いますがいかがでしょうか。

○小野田靖高齢介護課長

前倒して実施したいと考えていることが、大垣市も同様ですが、今、要支援の方が通われているデイサービスですとか、ヘルパーなどの事業について、制度上新しい制度に移行する行為であります。実際に受けられるサービスが変わるということではありません。先ほどから議論されているNPO団体などに取り組んでいただこうと考えている、新しいサービスとは別のものとなります。これは予定通り平成29年4月に向けてスタートしたいと考えていますが、実施される事業所や団体がどこまで取り組んでいただけるかによるものであり、順次作っていききたいと考えています。

○榊原伸行委員

今までの利用者にとって、どのようなメリットがあるのでしょうか。

○小野田靖高齢介護課長

利用者にとってメリットとなる制度にしたいと考えています。一般のボランティアさんをこの制度に入れるのか、入れないのかなど、団体の方と十分に協議していきたいと考えています。

○藤田千晴福祉部長

今回の国の制度の改正で、利用者にとって不利益になるのでは、という声も伺っています。私どもは、それが起きないようにするための仕組みづくりが必要だと考えていまして、提供の幅が広がるような形になるよう議論しています。また、事業者の方たちも知恵を絞っていただいています。

○沢田清委員長

他にありませんか。

【「なし」との声あり】

本日の議論を踏まえて、委員会報告案を作成させていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。

次に、その他を議題とします。しばらく休憩します。

午後 3 時 1 7 分 休憩

午後 3 時 1 9 分 再開

○沢田清委員長

委員会を再開します。次回の委員会は、3月29日の13時30分から、4月12日は9時30分から実施いたしますので、よろしくお願いします。その他、皆様から何かありましたお願いします。

【「なし」との声あり】

ないようですので、これにて文教厚生委員会を閉会します。

午後 3 時 2 0 分 終了